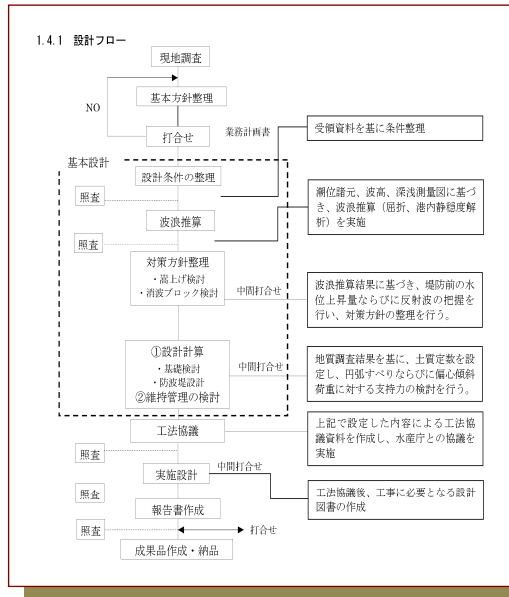




〇〇〇漁港上空写真



設計フロー

### 2.4.3 静穏度の目標値

保証設計および本施設設計の採用可能な最大波高（標準値として設定）は、「漁港・漁場の施設設計の手引き 第7編 水産施設設計」に基づき、定めるものとする。

保設計	保証設計	保証設計	保証設計
保設計	保証設計	保証設計	保証設計
保設計	保証設計	保証設計	保証設計
保設計	保証設計	保証設計	保証設計

### 2.4.4 解析結果

現況の静穏度解析（高山法）

### 2.4.5 消波構造

港内静穏度を確保するためには、港内へ入射する波高を低減する必要がある。そのために、堤防防波堤構造に消波ブロックを設置し、入射波高の低減を図るものとする。

以下に、消波ブロック構造の比較表を掲載する。

構造形式	消波ブロック設置式	構造形式比較表	消波ブロック設置式
新案			
安定性	安定	安定	安定
概算	概算	概算	概算
経済性	経済性	経済性	経済性
維持管理	維持管理	維持管理	維持管理
総合評価	総合評価	総合評価	総合評価

消波構造形式比較検討

### 2.4.7 解析結果

解析した結果、対象とする静穏域において、深さ0.5m以下という範囲に収まったことより、本施設における静穏度は保たれているものと判断できる。

採用構造による静穏度解析

### 4 防波堤の構造について

#### 4.1 消波ブロックの構造

「漁港・漁場の施設設計の手引き」によると、「防波堤の構造は、港内静穏度の確保と波の低減を目的として設計される」とある。

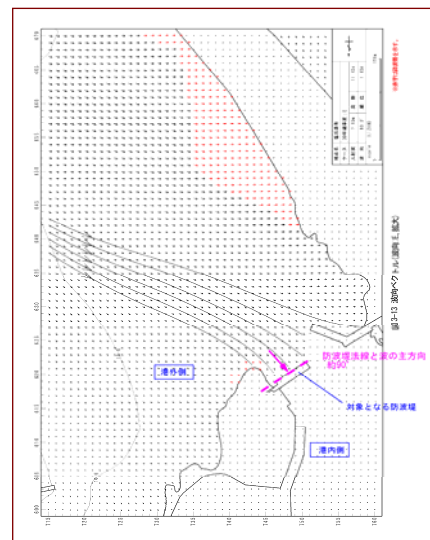
本設計においても消波ブロックの構造については、可能な限り波の低減を図ることを目的とし、防波堤構造と波の伝達方向とを考慮し、「ケース」に基づき構造を決定する。

【構造】

① 防波堤の構造・消波ブロックの構造は、標準的な構造を採用している。

② 消波ブロックの構造は、防波堤の構造と一体として設計されている。消波ブロックの構造は、防波堤の構造と一体として設計されている。消波ブロックの構造は、防波堤の構造と一体として設計されている。

防波堤 堤頭部検討



波向ベクトル